

記入例

様式第1号

令和2年 3月 1日

宮崎市長 戸敷 正 殿

申請者 住 所 宮崎市橘通西1丁目1番1号
所 属 宮崎市役所大学大学院
地域貢献研究科
氏 名 地域 貢献 印

宮崎市地域貢献学術研究助成金応募申請書 (学生枠)

令和2年度において実施する下記研究について、助成金の交付を受けたいので、宮崎市地域貢献学術研究助成金交付要領第2条の規定により応募します。

記

募集要項の「助成対象となる研究」に沿ったテーマの研究としてください

- 1 研究の名称 AIによる市役所窓口業務の効率化に関する研究
- 2 申請額 金 800,000 円
- 3 添付書類
(1) 申請者略歴 (要綱様式第1号 (別紙1))
(2) 学術研究実施計画書 (要綱様式第1号 (別紙2))
(3) 収支予算書 (要綱様式第1号 (別紙3))
(4) 推薦書

別紙 1

申請者略歴

氏名	ふりがな ちいき こうけん ----- 地域 貢献
所属 1 (大学名・研究科名)	宮崎市役所大学大学院 地域貢献研究科
所属 2 (課程、学年)	修士課程 ・ 博士前期課程 ・ 専門職大学院 (1 年)
住所・電話等	〒880-8505 宮崎市橘通西 1-1-1 電話番号 0985-21-1711 e-mail 01kikaku@city.miyazaki.miyazaki.jp
生年月日	1997 年 1 月 1 日 (満 23 歳)

別紙2 (学生枠)

学術研究実施計画書

<p>研究の名称</p>	<p>A I による市役所窓口業務の効率化に関する研究</p>
<p>研究の目的・概要</p> <p>※本市のどのような地域課題・行政課題の解決を目指すのか、研究の目的を明確に記載してください。また、研究内容の概要を記載してください。</p> <p>※研究内容を図式化等した資料をA3用紙1枚にまとめて別途添付してください。</p>	<p>【研究の目的】</p> <p>人口減少及び少子高齢化の進展により、働き手不足が今後ますます進むことは確実であり、市役所も例外ではない。そこで、業務の一部をA I (人工知能) に任せ、限られた人材を有効活用する形態への移行が急務となっている。</p> <p>本研究では、宮崎市においてA I の活用が可能な業務を選定し、窓口担当課や市民のニーズを把握してマッチングを行い、A I の活用に適した業務を選定する。その上で、A I 導入による効果を試算し、短期的/中長期的に導入を推奨する業務に分類することを目的とする。</p> <p>【研究概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の窓口業務を棚卸しするとともに、広く先行事例を求め、類型化し、A I の活用が可能な業務を洗い出す。 サービスの供給側である市と受給側である市民のニーズ把握を行い、A I の活用に適した業務を選定する。 A I 導入にかかる費用と削減できる人件費の試算や、その他付随する課題や効果の整理を行う。 <p>以上の結果をもとに、短期的/中長期的に導入を推奨する業務に分類する。</p>
<p>研究の実施方法 (詳細計画)</p> <p>※実地調査、分析、実験の予定など、研究の具体的な内容を記載してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基礎研究として、国内外の先行事例調査を行い、類型化する。 担当課へのヒアリングにより市の窓口業務の棚卸し及び供給側のニーズ把握を行う。 市民(〇〇人)へのアンケートにより、受給側の意識調査を行う。 関連事業者と連携し、A I 導入にかかる費用と削減できる人件費の試算や、その他付随する課題や効果の検討を行う。
<p>外部機関との連携予定</p> <p>※他大学・企業・公的機関など、外部機関・研究者と連携して研究を実施する場合は、右欄に記載してください。</p> <p>※外部機関との連携予定が無い場合は、「予定無し」と記載してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇◇大学情報工学部 (行政におけるA I の活用) 宮崎市 A課、B課… (業務の把握、ニーズ調査) △△総合研究株式会社 (A I 化の試算等) <p>・着手予定は5月1日としてください。</p>
<p>研究の実施見込期間</p>	<p>着手予定年月日 令和2年 5月 1日</p> <p>完了予定年月日 令和2年 12月 28日</p>

記載形式は自由ですので、研究の目的と概要をまとめて記載しても問題ありません。

(注1) 1枚で記載できない場合は、複数枚に分けて記載すること。

(注2) 研究内容の概要を図式化等した資料をA3用紙1枚にまとめて別途添付すること。

記入例

別紙3

収 支 予 算 書

1. 【収入の部】

項 目	金 額 (円)	内容及び積算
助成金	800,000	宮崎市地域貢献学術研究助成金

報償費、旅費は、各大学等の規定に従って算定してください。

2. 【支出の部】

経 費	金 額 (円)	積算内訳	使 途
報償費	200,000	<ul style="list-style-type: none"> ・技術指導料 (〇〇大〇〇氏) @10,000×10日×1人=100,000 ・データ入力補助 @800×5日×4人=16,000 ... 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇実験の技術指導 ・アンケート調査結果入力
旅 費	150,000	<ul style="list-style-type: none"> ・◇◇市視察 (2泊3日) 交通費(往復)31,000+宿泊費13,100×2日+ 日当2,600×3日=65,000 ... 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察及び関係者との意見交換
消耗品費	50,000	<ul style="list-style-type: none"> ・関連図書 @5,000×1冊×1.08=5,400 ・実験試薬 @3,000×5セット×1.08=16,200 ・インクカートリッジ@3,200×2本×1.08=6,912 ... 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎資料 ・〇〇実験に使用
印刷費	100,000	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査票 @100×1,000部=100,000 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態調査 ・〇〇実験
通信運搬費	50,000	<ul style="list-style-type: none"> ・補足調査票郵送料 @200×200通=40,000 ・実験器具運送費 @10,000×1回=10,000 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査フォロー ・〇〇実験に使用
使用料及び賃借料	150,000	<ul style="list-style-type: none"> ・実験施設借上料 @150,000×1日=150,000 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇実験に使用
その他の経費	100,000	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査委託料 @100,000×1式=100,000 	
合 計	800,000		

(この場合の上限額)
800,000×0.3=240,000

(注1) 「積算内訳」は、「単価×数量×消費税=金額」などのように、可能な限り詳細に記載すること。

「用途」には、本研究を実施するうえで当該経費を使用する目的等を簡潔に記載すること。

(注2) 1枚で記載できない場合は、複数枚に分けて記載すること。

■ 本研究が市又は他の機関や団体等から補助金等の交付を別に受けている又は受ける予定の研究に該当するか否かについて、次のどちらかに○を付けてください。

該当する ・ 該当しない

年 月 日

推 薦 書

宮崎市長 殿

所 属 宮崎市役所大学大学院地域貢献研究科
所在地 宮崎市橘通西1丁目1番1号
役 職 教授
氏名 学術 研究 印

私は、下記の者を指導教官として、宮崎市地域貢献学術研究助成金（学生枠）対象者として推薦します。

記

被推薦者の氏名	地域 貢献
専攻・学年	地域貢献専攻 1年
研究の名称	AIによる市役所窓口業務の効率化に関する研究
推薦者連絡先	e-mail 02kikaku@city.miyazaki.miyazaki.jp 電話 0985-21-1711
その他特記事項 (任意記入)	本人を推薦する理由、本人が取り組んでいる研究テーマの特徴など、自由に記入してください。